

平成 29 年度施政方針について

一般質問



衣笠 利則 議員
(21 政会)

問 子供が元気にいきいき活動する加西について。

答 市民の教育への関心が非常に高いなか、子供たちが元気に明るく学校生活を送れ、保護者が安心して通わせることができる学校づくりを推進していきたいと考えています。

問 雇用と経済が元気を取り戻す加西について。

答 6次産業化の推進については、市、JA、商工会議所による加西ブランド協議会等で新

商品開発の補助などを行っています。また、農産物では、JAの推奨による1反当たりの収入が200万円になるといわれるアスパラガスの栽培なども始まっています。また、加西インター周辺の開発は、企業の誘致、雇用の増加、人口の獲得、財政基盤の安定にもつながる地域の開発であり、最重要であると思っています。

問 安心して暮らせる加西について。

答 鶉野飛行場跡地に防災拠点の整備を進め、災害時の備蓄倉庫やヘリポートを計画しています。

問 環境都市加西について。

答 太陽光発電施設の発電量については、グリーンエナジーシティ構想を策定したときのエネ

ルギー自給率の目標を既に突破しています。なお、発電施設の設置には、県の条例を参考に市の開発調整条例を運用し、地域環境との調和を図りながらクリーンエネルギー導入を図っていきたいと思っています。

問 パートナーシップによる地域経営について。

答 ふるさと創造会議においては、それぞれの地域においてその地域の課題や問題点を抽出し、目標を定めて、その地域目標に向かった活動や地域資源を生かした活動に取り組まれていると認識しています。

■その他の質問項目

- ・市制 50 周年を迎えて今後の考えについて

認定こども園の整備について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 加西こども園の基本計画では、「加西中校区においては、公立と民間の認定こども園の2施設が望ましく、各施設が各小学校区に存続することで、地域の子育て支援の拠点施設として機能を果たし、小学校との円滑な連携が図れる。」として、各小学校区に就学前の施設があることを統合案の柱にしている。泉地区では、4小学校区にある幼児園、幼稚園、保育園全体5園を1園にするという計画案が、どういう考え方に基づいているのかお尋ねしたい。

答 3年前、泉中学校区において地域協議会を開催しています。そのときは統合の具体的な提案をせずに協議していただきました。最終的に統合までは至りませんでした。もっと具体的な提案をしてもらいたいという当時の意見も踏まえて、このたびの協議会では、将来的な人口推計、子供の見通しも含めて施設を1園にする提案をさせていただきました。

問 宇仁地区では、市の支援も得て、特別指定区域も含めた土地の活用を努力しつつ、若い人たちに帰ってきてもらおうという取り組みがされている。それが地域に小学校ができたことによって弾みがついてきている中で、地域の努力を無視することだ思う。みんな命を懸け、何千万円も費やし若い人たちはここに住もうという選択をしている。そういつ

たところをしっかりと応援することが政治の使命だと思うがいかがか。

答 昭和 50 年代につくった施設は 0、1、2 歳は想定していませんでした。子育て世代が切望されているのは、この年齢の受け入れであり、今の施設では対応できません。人の確保も含めて総合的に考え、市全体として地域に関係なく同じ方向を向いていかなければならないという意味で、1つの案を提案させていただきました。地域協議会の答申を受け取らせていただいて判断したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・財政収支の見通しについて
- ・鶉野飛行場周辺整備事業について